楽しい科学のショー

米村でんじろうサイエンスショー

８月12日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に米村でんじろうサイエンスショーが開催され、市内外からたくさんの子どもたちが来場しました。

空気を使った実験では、普段目にすることのない大きな風船に子どもたちは大はしゃぎ。夏休みも折り返し、暑い日が続くなかでも、身をもって科学を楽しく学んでいる姿が見られました。

▲こんなに大きな風船でも重くないよ！

豪雨に見舞われるも観客を魅了

第５回キャンドルコンサート

８月５日、象潟地区地域振興協議会主催の「第５回キャンドルコンサート」が行われました。

この日は、山形県酒田市からにかほ市にかけて記録的な豪雨に見舞われ、象潟海水浴場でのキャンドル点火は叶いませんでしたが、象潟中学校体育館に会場と移し、超神ネイガーショーやケースケ＆マサ、Esperanza(エスペランサ) のライブが行われました。

▲フィナーレは出演者たちがコラボで合唱♪

日本海の荒波のごとく打つ！

第29回日本海に響け！太鼓の祭典。

７月28日、潮風公園野外ステージで第29回日本海に響け！太鼓の祭典。が開催されました。

今年はニュージーランドから来日した「ＫＡＧＵＴＡＩ（かぐたい）」やなまはげ太鼓の「恩荷」などが初参加。フィナーレでは、例年以上に多くの小学生が舞台に上がり、出演者などと一緒に太鼓を叩き会場を盛り上げました。

▲熱い表情とバチさばきの象潟九十九島太鼓

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第68回“社会を明るくする運動”公開ケース研究会 in 仁賀保

７月27日、にかほ市と本荘地区保護司会主催による第68回“社会を明るくする運動”公開ケース研究会 in 仁賀保がスマイルを会場に行われました。

基調講演で講師を務めた元本荘地区保護司会会長の佐藤吉寛氏は、「心豊かな地域にするために自分は何ができるか、チカラを合わせて更生保護の暖かいネットワークを作りましょう。」と語られました。

▲本荘地区更生保護サポートセンターの開設にも尽力された佐藤吉寛氏

まつりに華を添える新・金浦音頭

2018湾頭まつり in 金浦

８月15日、金浦体育館で金浦地区地域振興協議会主催の「2018湾頭まつり in 金浦」が開催されました。今年は雨が心配され屋内で行われましたが、この日を楽しみにしていた地元の住民や帰省客が大勢訪れ、会場は賑わいました。また、このまつりの目玉、みんなで踊る新・金浦音頭では、参加者全員が笑顔で踊り、まつりを満喫する姿が見られました。

▲ベテランも初心者も楽しく踊れる新・金浦音頭♪

お盆の夜、潮風とともに

夢の祭典 in 潮風

８月15日、潮風公園で平沢地区地域振興協議会主催の「夢の祭典 in 潮風」が開催されました。

心配された雨もフィナーレの花火まで一時的な小雨に留まり、ステージダンス、大抽選会、仮装盆踊り、松本英子ライブとすべてのイベントが大成功。また、会場は埋め尽くすほどの観客で溢れ、さまざまな彩りの出店はどのお店にも行列ができていました。

▲大勢のダンスや盆踊りが会場を盛り上げる

高度な防災知識と技術を市民に還元

仁賀保高校 Benkyo & volunteer 同好会 みんなで一泊防災キャンプ（MIC）

８月３日・４日、仁賀保高校で災害時の避難生活体験、避難所運営のトレーニングを目的としたキャンプが行われました。防災トレーニングには市内の小学生も参加し、空き缶炊飯、防災工作などを一緒に行い、避難所を想定した訓練では、同同好会の蓄積された防災知識・技能により参加者にとってとても貴重な体験となりました。

▲地元の高校生から地元の小学生へ空き缶炊飯のレクチャー

芭蕉の句が縁を結ぶ日中の友好

第29回西施まつり

８月１日、にかほ市日中友好協会（三浦彬会長）主催の第29回西施まつりが、ねむの丘で開催されました。今年の西施むすめに選ばれたのは仁賀保高校１年生の竹島春奈さんと渡邉里奈さん。

日中平和友好条約40周年を迎える今年、日本と中国の関係改善への想いを共有しようと青く澄んだ日本海と西施像の前で西施の舞を披露しました。

▲晴天のなか麗らかな舞を披露する西施むすめ